

萌丘東幼稚園  
萌丘東保育園 ほいくだより

2024



# ひがしっ子 12月



先日の発表会では、温かい眼差しと拍手ありがとうございました。こども達にとって特別な贈り物になりました。こども達にとって発表会は楽しい時間であると同時に、恥ずかしかったり緊張したりと、日常から一步踏み込んだ体験の時間でもあります。きっと大人でも同じような気持ちになると思います。そんな中でこのこども達の姿に、大人として親としてこみ上げるものがあったことと思います。楽しいと思える気持ち、人とのつながりの喜び、そういったものがつくり出した発表会に今年もなってくれました。

今年から2歳児クラス以上による発表会となりました。発表会のテーマは「ことば」や「友達とのつながり」。0・1歳児クラスにとってはその前段階にある、親とのコミュニケーションやふれあいの充実の方が重要であり、それが結果として「ことば」や「友達とのつながり」につながっていくこととなります。そのため、今年からは保育参観等を重視する保育環境に舵をきらせていただきました。時代と共に、こども・保護者・保育者にとって、良い保育とは何だろうか？ということを考え、保育や行事等に落とし込んでいくこととなりますので、変化していくことに対して、改めてご理解をいただきたいと思います。

また、年少～年長の異年齢3グループによる発表会も楽しんでいただけたでしょうか。発表会を体験した年長さんは、自分より小さな園児達のことをよく気に掛けるようになります。直接手助けしたり、様子を見守ったりと形は様々ですが、自分のこと以外に目を向ける姿が広がっていきます。このような兄弟間に芽生えるような心の成長につながる体験が異年齢グループの良さの1つでしょう。

長い間、東園ではクラス単位の発表会ではなく、異年齢グループによる発表会を続けています。現代のこども達を取り巻く環境を始め、コロナパンデミックを経て、改めて幼稚園や保育園で幅広い年齢層の触れ合う体験が求められていると考えています。年齢が大きくなるにしたがって、「誰かと一緒に遊ぶ体験が充実するにはどうするといいいのか」という視点で保育や環境を整えていくことが、東園の保育においても重要性が高まっていくと感じています。



発表会が近づいても

さすがに寒い日が増えてきましたが、今年は暖かい日が多いですね。こども達も園庭の芝生で思い切り体を動かしたり、クラスで楽しくダンスをしたりと、発表会のあるなしにかかわらず楽しい日々を過ごしていました。

3～5歳児クラスが部屋で発表会の練習をしている中、クラス単独ではなく、芝生で0～2歳児クラスと一緒に遊んでいる様子もよく見かけました。3～5歳児クラスのように明確な目的があって異年齢交流しているわけではありませんが、こういった交流の中で、どのクラスの保育者も園児一人ひとりのことがよくわかり、そこから生まれる安心感を感じながらこども達は大きくなっていくことでしょう。





発表会までの日々

発表会の子ども達の演技は本当に素敵でしたね。真剣さや緊張感、嬉しさといった様々な感情をとおして、心の成長が感じられた日になりました。そこには「はじめは大きな声で話せなかったけど、お家で練習してきたことを認めてくれた先生やお友達がいた経験」など、さまざまな心が揺さぶられる体験が、一人ひとりありました。ただ、なんとなく生活しているだけではできない体験ではありませんし、子供心に楽しいだけではない瞬間もあったはずです。それでも、これから先子ども達が大人になっていく中で、発表会での体験が必ず力になってくれると信じています。

